

福井県ふるさと文学館 新収蔵品展

NEW COLLECTION

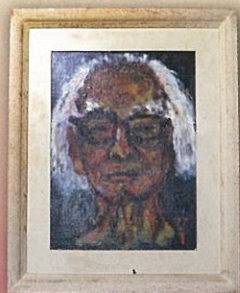
開館後に新たに収集した福井ゆかりの作家に関する主な資料を一挙公開します。

今年是小浜市出身の詩人、児童文学者として活躍した山本和夫の没後20年を機に、

山本和夫の直筆資料や愛用品のほか、水上勉の本の挿画を多く手がけた司修氏の挿絵などを展示します。



司修「父と子」(水上勉原作)挿画



山本和夫自画像



山本和夫愛用品



司修「父と子」(水上勉原作)挿画



三好連治「岸田國士弔辞」原稿



志田弥広「炎の如く」(大島昌宏原作)挿画

観覧
無料

平成28年4月23日(土)～6月26日(日)

開館時間

火～金曜日 / 9:00～19:00
土・日・祝日 / 9:00～18:00

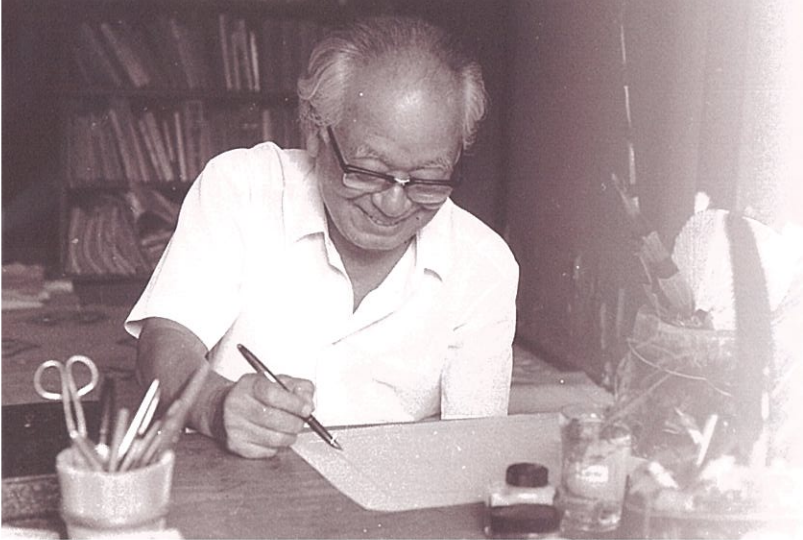
休館日

月曜日(※5月2日(月)は開館)、5月6日(金)
5月26日(木)、6月23日(木)



福井県 FUKUI MUSEUM OF LITERATURE

ふるさと文学館

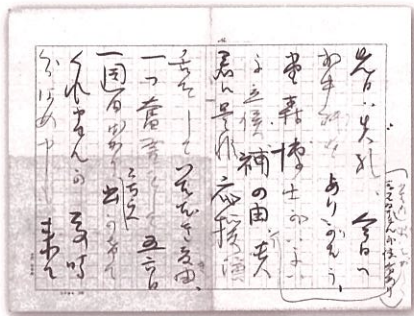


山本和夫 書齋にて

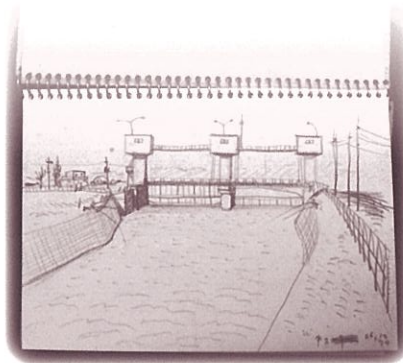
福井県ふるさと文学館は開館一周年を迎え、これまで多くの方々から貴重な資料をご寄贈いただきました。文学館では、福井ゆかりの作家の直筆資料や愛用品など、ふるさとの文学に関する資料を総合的に収集・保存し、後世に伝えてまいります。

このたび、ご寄贈いただいた資料をはじめ、開館後に新たに収集した資料の主なものを一挙公開します。

今年、小浜市出身で詩人、児童文学者として活躍した山本和夫の没後20年を機に、山本和夫に関する新収蔵資料のほか、本郷村（現、おおい町）出身で直木賞作家水上勉の本の挿画を多く手がけた司修氏の作品などを展示します。



山本和夫宛三好達治書簡



司修「父と子」取材ノート（水上勉原作）



大島昌宏「九頭竜川」草稿

関連イベント

《講演会》

「水上勉さんとの楽しい思い出」

水上勉の挿絵を数多く手がけた司修氏から、在りし日の水上勉との交流や作品に込めた思いなどを語っていただきます。



「雁の寺」取材時のほんやら洞にて 撮影：大槻慎二

司修氏 プロフィール

1936年、群馬県前橋市生まれ。多彩な技法をもちいて水上勉や大江健三郎などの挿絵、装丁などを手掛ける。1993年に「犬（影について、その一）」で川端康成文学賞、2006年に『ブロンズの地中海』で毎日芸術賞、2008年に『山をはこんだ九ひきの竜』で産経児童出版文化賞美術賞、2011年に『本の魔法』で大佛次郎賞など受賞歴多数。近著に『Oe：60年代の青春』（2015年）がある。

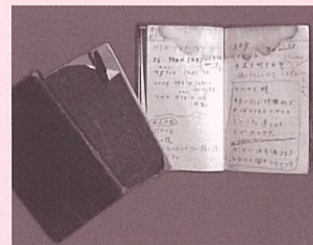
日 時 ● 平成28年4月23日(土)
14:00~15:30
会 場 ● 福井県立図書館
多目的ホール
講 師 ● 司修氏(画家、作家)
定 員 ● 100名
参加費 ● 無料

要申込

《文学カフェ》

「シリーズ作家を語る 山本和夫 戦場の詩人 — 従軍手帳を読む —」

山本和夫の長男祐夫氏が父の遺品を整理する中で発見した8冊のビルマ戦線従軍手帳。その中に記された未発表の詩をその背景と共に紹介します。



日 時 ● 平成28年6月18日(土)
13:30~15:00
会 場 ● 福井県立図書館
研修室
講 師 ● 山本 祐夫氏
定 員 ● 30名
参加費 ● 250円(飲み物代)

要申込

《申込方法》 イベント名・ご氏名を文学館あてに電話・FAX・メールでお申込みいただくか、下記の申込用紙にご記入の上、文学館へお持ち下さい。



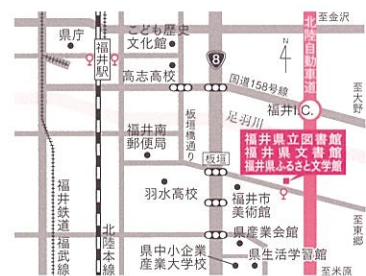
福井県 FUKUI MUSEUM OF LITERATURE

ふるさと文学館

〒918-8113 福井県福井市下馬町 51-11
TEL 0776-33-8866 FAX 0776-33-8861
E-mail bungakukan@pref.fukui.lg.jp
HP <http://www.library-archives.pref.fukui.jp/>

アクセス

フレンドリーバス(無料) ● JR福井駅東口広場から30分おきに出発 約15分
路線バス ● JR福井駅前市内バス5番のりばから市内バス(62系統・一乗谷東郷線)約12分
自動車 ● 北陸自動車道福井インターより約15分 国道8号線板垣交差点を東に折れ約900m



講演会

「水上勉さんとの楽しい思い出」

日時/平成28年4月23日(土) 14:00~

申込者名

文学カフェ

「シリーズ作家を語る 山本和夫 戦場の詩人 — 従軍手帳を読む —」

日時/平成28年6月18日(土) 13:30~

申込者名